

交通事故発生状況マップの画面の一部。交差点や幹線道路周辺に事故を表す点が多い



交通事故「こ」で発生

交通事故の発生場所や類型などを地図上にまとめた「交通事故発生状況マップ」を県警がインターネット上に公開した。県警が保有していたデータを一般向けにしたもので、企業や教育機関などで情報を広く活用してもらい事故防止につなげたい考え。県警ホームページ内から誰でも利用でき、一部機能を除いてスマートフォンにも対応している。

県警、ネットで「マップ」公開

今年1～8月の県内の人などの類型や、発生時間、身事故について、今月から当事者の年代などの情報も公開している。地図上には、確認できる。それぞれ検索発生場所に死亡、重傷、軽傷で絞り込むことも可能で、傷で3色に分けた点を配置「通学時間帯に子どもが関した。各事故については、わかる事故」、「自社の事業所周辺の事故」なども調べ「車同士」、「車と歩行者」

情報詳しく、検索も可能

データは1カ月分ごとに翌々月中に公開する予定。県警交通企画課では「情報が蓄積すればするほど分析もやすくなる」と活用を呼び掛けている。既に活用に向けて動きだしている企業もある。県内外で路面清掃などを手掛ける大光産業（山形市）の石沢政光社長（66）は「現場の周辺でどういう事故が多いのかなど参考になる。データが増えていくのも良い」と話し、「従業員教育などに活用できると思う」としている。